

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 新座市子どもの放課後居場所づくり事業 運営委員会（第1回）
開 催 日 時	平成30年5月22日（火） 午前10時から11時15分まで
開 催 場 所	新座市役所本庁舎3階 303・304会議室
出 席 者	金子 廣志 平岡 健二 小林 奈々江 高橋 靖子 須田 邦彦 結城 美千代 石原 志穂 岩出 晃 金澤 仁美 宇原 悦子 磯貝 幸子 土屋 賢治 萩原 宏枝 森田 和憲 吉澤 直美 一ノ関 知子 三枝 努 榎本 哲典 金子 啓一 計19名
事 務 局 職 員	生涯学習スポーツ課 小糸副課長、藤田主任、天倉主事、 向山主事、福田主事補、武嶋
会 議 内 容	1 開会 2 挨拶 3 新委員の委嘱、任命及び紹介 4 議事 (1) 役員の選出について (2) 平成29年度事業報告及び決算報告について (3) 平成30年度事業計画及び収支予算について (4) 子どもの放課後居場所づくり事業運営状況について (5) 新規開設校進捗状況について (6) 今後の予定について (7) その他 5 閉会

<p>会 議 資 料</p>	<p>・ 次第資料 ・ 平成 30 年度新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営委員会名簿 ・ 平成 30 年度新座市子どもの放課後居場所づくり事業役員名簿（案）</p>
<p>そ の 他 の 必 要 事 項</p>	<p>特になし</p>
<p style="text-align: center;">審 議 の 内 容 （審議経過、結論等）</p>	
<p>1 開会（小糸副課長）</p> <p>2 挨拶（金子教育長）</p> <p>3 新委員の委嘱、任命及び紹介（小糸副課長） 新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営委員会設置要綱第 3 条において、教育長が委嘱、又は任命するとなっている。また、同要綱第 4 条の規定により、平成 28 年 5 月に委嘱又は任命を受けた委員の皆様は、平成 30 年 3 月 31 日をもって任期満了となっているが、同じく第 4 条では、「ただし、再任を妨げない。」としているので、引き続き皆様に委員をお努めいただきたい。また、途中で委嘱又は任命を受けられた皆様は、前任者の残任期間となっているので、平成 30 年 3 月 31 日で任期満了となっている。については皆様に新たに委嘱又は任命をさせていただく。任期は平成 32 年 3 月 31 日までである。 なお、欠席した委員からは委嘱、任命について事前に了解を得ている。 （教育長から、委員を代表して平岡委員に委嘱状を交付。続いて委員、事務局職員の自己紹介）</p> <p>4 議事 これ以降の議事については、運営委員会設置要綱第 7 条の規定により、委員長が行うこととなっているため、進行役を金子教育長にお願いした。</p> <p>(1) 役員の決定について（説明：藤田主任） 今年度は役員改選の年である。運営委員会設置要綱第 5 条により、委員長 1 名、副委員長 1 名、会計 1 名及び監事 2 名を決定していただきたい。 意見が出されなかったため、事務局から、委員長に金子廣志教育長、副委員長に小学校校長会・平岡健二陣屋小学校長、会計に生涯学習スポーツ課・金子啓一課長、監事に民生・児童委員協議会・須田邦彦会長、保育課・榎本哲典課長に就任していただく案を提出し、承認された。</p> <p>(2) 平成 29 年度事業報告及び決算報告について（報告：藤田主任） 資料 1～3 ページのとおり報告した。 平成 29 年度収入支出決算書について、須田監事より会計監査報告を行った。 → 異議なし。</p>	

→ 承認された。

- (3) 平成30年度事業計画及び収支予算について（説明：藤田主任）
資料4ページのとおり説明した。また、事務局より5ページのとおり収入支出予算書（案）を提出した。
→ 異議なし。
→ 承認された。

- (4) 子どもの放課後居場所づくり事業運営状況について（説明：藤田主任）

○学年別登録者数（資料6～7ページ）

平成30年4月末日現在の各ココフレンドの登録者数は、前年度と比較して概ね増加している。特に、夏季休業日の午後も開設する東野、東北、栗小、大和田ココフレンドについては、20名以上の増加となっている。在籍児童数では、東野小学校、石神小学校、野寺小学校、大和田小学校が15名以上増加しており、東北小学校は8名、第四小学校は28名減少している。

今年度5月31日（木）に開室する八石ココフレンド、栄ココフレンドの登録状況は、八石ココフレンドが在籍児童数321名に対し161名の登録で、登録率は50.2%、栄ココフレンドが在籍児童数298名に対し、144名の登録で、登録率は48.3%となっている。これまでの新規開設時の登録率と比較すると高めの登録率となっており、保護者の関心や期待感がうかがえる。5月31日（木）以降、登録受付を再開するので、今後も登録者数は増えていくことが考えられる。

学年別では、低学年の登録が多くなっており、事業開始当初から同じ傾向である。

○月別参加人数（資料8～13ページ）

平成29年度の参加状況は、1学期の参加が2学期、3学期の参加よりも多くなっている。また、保護者会などの学校行事のある日や、ココフレンドでイベントを実施する日に参加が多くなっている。この傾向は毎年同様である。

10月20日から翌年の1月末日までが冬時間となっており、お迎えのない児童は午後4時30分までの活動になることもあり、この期間の参加者が減っている。また、1月、2月は、どの学校でもインフルエンザ様疾患による学級閉鎖や学年閉鎖が多くあり、参加者が減った要因であると考えられる。

昨年度までは、運動会や土曜日授業などの代休日や県民の日の午前中もココフレンドを開室していたが、参加者が10名に満たない日が多く、石神ココフレンドにおいては参加者がなしという日もあったため、昨年度、本事業実施要綱を改正し、代休日と県民の日は休室とした。

今年度の4月については、既存校の在校生は4月2日（月）から、新1年生は4月17日（火）から参加を受け入れており、懇談会のあった日などで、東野小学校、石神小学校、東北小学校、野寺小学校、大和田小学校の5校のココフレンドで100名を超える参加があった。

○各ココフレンドの活動状況報告

(東野、東北、野寺、大和田ココフレンドについてはコーディネーターから、石神、新堀、四小、栗小、新開ココフレンドについては事務局から報告)

〈東野ココフレンド〉(磯貝コーディネーター)

- ・ 在籍児童数676名に対して今日現在の登録児童は412名であり、60%を超える登録率になっている。
- ・ 日々の参加人数は平均して60名弱で、1年生は毎日22名前後参加している。1年生は比較的落ち着いた様子である。
- ・ ココフレンドの運営については、校長先生をはじめ、先生方や地域の方々に協力いただいております、大変感謝しています。
- ・ 年間を通して毎月のイベントを企画しており、今月はブンブンごま作りを行った。
- ・ 学校で子どもたちが声をかけてくれたり、休み時間などにココフレンドスタッフルームに来ておしゃべりをしたり、片付けを手伝ってくれたりすることが嬉しい。

〈石神ココフレンド〉(福田主事補)

- ・ 1年生の登録者数が80名を超え、毎日20名前後参加している。2年生の参加も多く、15名から20名を超える参加がある。子どもたちは校庭、体育館で元気に遊ぶ様子が見られる。
- ・ 1学期開始早々に懇談会があり、低学年の懇談会の日には126名の参加があった。また、PTA総会の日にも80名の参加があった。
- ・ 放課後児童保育室とダブル登録している児童については、1年生の参加はまだないが、2年生以上では毎日5名前後が参加している。
- ・ 約20名の児童が毎日参加しているが、保護者の仕事などの理由で参加していると思われる。6時間目が終わった兄、姉によるお迎え児童も5、6名おり、兄弟そろって安心して下校できる体制づくりにも役だっているようだ。

〈東北ココフレンド〉(土屋コーディネーター)

- ・ 4月は1日当たりの平均で約65名の参加があったが、最近では40～50名で落ち着いてきている。
- ・ 東北小学校が自転車の競技会に出場するため、その準備でココフレンドはしばらく体育館を使用できない。体育館で遊べないので子どもたちの参加が少し減っているようだ。
- ・ 参加人数を学年別にみると、1年生が一番多く、2年生、3年生、4年生と学年が上がるにつれて減ってくる。4年生が一番少なく、5年生、6年生はまた増えてくる。放課後児童保育室は4年生までなので、放課後児童保育室を卒業した5、6年生がココフレンドに参加しているのかもしれない。上級生がリーダーシップを発揮して下級生の面倒をみるなどの良い傾向になっている。
- ・ 放課後児童保育室とダブル登録している児童は47名で、ココフレンドに参加する児童が昨年と比べて増えている。放課後児童保育室との連携・協力がより必要である。

- ・今年度1学期は木曜日が7時間授業になり、午前中に5時間授業を行う。低学年は給食を食べた後、午後1時30分に下校になるため、木曜日はココフレンドも午後1時30分に開室している。その日は低学年の参加人数が特に多くなるのだが、7時間目の授業が終わるまでは体育館や校庭が使えず、80名近い子どもたちがココフレンドスタッフルームのみで活動している。スタッフも午後1時30分から午後5時30分までの4時間勤務になる。

〈新堀ココフレンド〉(福田主事補)

- ・今年度も1、2年生の8割、全在籍児童数の5割を超えての登録児童でスタートした。日々の参加人数は通常30～40名程度で推移しているが、懇談会等がある日は2～3倍の参加になる。
- ・6年目になり、スタッフも経験を積み重ね、子どもたちへの見守り、声掛けも子どもの目線に立つことを大事に取り組んでいる。
- ・1年生は4月中旬から参加し、ココフレンドでの過ごし方をしっかり身につけられるように活動してきた。大型連休明けからは宿題が出ているので、丁寧に取り組むように声掛けをしている。
- ・今年度も「放課後の居場所づくり」として、子どもとの交流、体験や活動の場の提供をしていきたい。

〈四小ココフレンド〉(福田主事補)

- ・新年度は日々の参加人数が平均41名程度で、ココフレンドスタッフルームが混み合った状況で運営している。
- ・懇談会、地域訪問、個人面談等の学校行事が続いており、参加人数が多い上に学習の時間が2時間に及ぶこともある。スタッフと相談をしながら運営の工夫をしている。長く活動しているスタッフが多いので、子どもたちに的確な対応をしてくれており、大変助かっている。
- ・1年生もココフレンドに慣れてきて、校内で会うと声を掛けてくれる子が増えてきた。
- ・今年度から1年生の名札が新しくなった。コンパクトだが、実際に使ってみると名前が見えにくいなどの課題が出てきた。

〈野寺ココフレンド〉(萩原コーディネーター)

- ・今年度で5年目を迎える。現在、登録者数は340名で、毎日平均で30名前後の子どもたちが参加している。今年度は新1年生の参加開始日と懇談会が重なり、活動予定の教室が急遽使用できなくなるということがあり、少々混乱した。今後はこのようなことがないように、学校と連絡を取り合って調整していきたい。
- ・1年生の参加人数は、昨年度までと比べて少なくなっている。
- ・今年度から登録受付の再開日が早まったので、これまでのように参加したくてもしばらく参加できない、という状況はなくなった。
- ・様々な事情で参加し、ココフレンドになかなか馴染めない様子の子も子どもたちもいるのが現状である。ココフレンドに参加して、みんな笑顔で家庭に帰れるような仕掛けを考えていきたい。
- ・先日、帰りの会の時間に不審者情報が入った。急遽、集団下校などの対処をして、子どもたちの安全を確保することができた。

〈栗小ココフレンド〉（福田主事補）

- ・ 5月10日現在、在籍児童404名のうち59.4%にあたる240名の登録がある。昨年度の参加児童は1～3年生が中心であったが、今年度は4～6年生が毎日参加している。このまま元気に異学年集団活動が展開できるとよい。スタッフのメンバーも変わっておらず、スムーズなスタートがきれた。
- ・ 現在は、今年度から初めて参加している児童の名前や個性の把握に努めている。様々な児童が参加しているので、スタッフとの打合せの際に情報交換を行い、個々に応じた支援ができるように心掛けている。
- ・ 自由遊びの時間の前に、全員にその日の連絡をするとともに、遊びの際の注意を繰り返し話している。また、その日の「ミニ教室」の参加を呼びかけ、桜の花、ネモフィラ、鯉のぼり、カーネーションなど季節感のあるものづくりに取り組んでいる。ミニ教室は、スタッフの力に支えられている。
- ・ 今年度の夏休みから長期休業中の午後も開設される。時程やイベント等について、安全・安心な見守りができるように準備を始めたところである。

〈新開ココフレンド〉（福田主事補）

- ・ 4月27日現在、登録児童は209名である。4月の平均参加者数は32.6名で、5月に入っても毎日30名前後の児童が参加している。その中でも1、2年生の参加が多く、20名以上である。
- ・ 5月は包材を利用したプチプチ鯉のぼりを作成した。6月は梅雨の時期を利用して、割り箸鉄砲を作成し的当て遊びを、7月は七夕飾りに作る予定である。夏休みは、アイロンビーズや自然の素材を使った制作を予定している。
- ・ 今年度も様々なイベントを計画するとともに、日々の活動を大切にしながら、子どもたちが喜んで来室してくれるようにスタッフ一同努めていく。

〈大和田ココフレンド〉（森田コーディネーター）

- ・ 昨年度開室し、初めての4月を迎えた。今年度から、丸型名札を四角い名札に替えたのだが、子どもが着けると名前の部分が下を向いてしまい、スタッフから見えなくなってしまった。名札を逆さまに着けてみたところ、見えるようになった。
- ・ 1年生は毎日25名前後参加しており、2年生以上が30～40人参加している。学校から2部屋お借りして、1年生だけで1部屋、2年生以上が1部屋で活動している。2年生以上の部屋は混み合うので、スタッフに負担がかかっている。
- ・ 学年によってココフレンドに来室する時間がまちまちであり、自由遊びの時間は子どもたちが自由に遊びたがるので、通常の活動の中でイベントはあまり行っていない。長期休業中のイベントが多くなっている。
- ・ 昨年度の1、2年生のほとんどが今年度も継続して登録している。今年度の4年生以上は登録が減ってきている。長期休業中は4～6年生の参加があり、ほのぼのとした異学年の活動が見られるのだが、通常はほとんどが4年生までの参加である。現在の1～3年生の学年が上がると

高学年の参加が増えていくのかもしれない。

- ・ 遊具の使い方などで、放課後児童保育室とルールの違いがあり、子どもたちが混乱してしまうことがあったので、放課後児童保育室と調整を行った。
- ・ 先日、子どもが怪我をしまい、保護者に連絡したところすぐに対応できない、ということがあった。ココフレンドとして病院に連れて行かなければならない状況になった場合、どのように対応すべきか課題である。
- ・ 日常の生活は放課後児童保育室とあまり変わらないように感じる。どのように違いを作っていけばよいかを考えながら活動している。

事務局 各ココフレンドに緊急時の対応マニュアルがある。災害、不審者、怪我の対応等についてマニュアル化したものである。怪我の状況に応じて経過観察、保護者への連絡、救急車の要請などをお願いしている。保護者がすぐに対応できない状況もあるということから、さらに詳細なマニュアル化について検討をしているところである。コーディネーターの皆様にも御協力いただき、さらに協議してまいりたい。

委員長 保護者に連絡がつかない場合は、学校に協力していただくことも必要である。

事務局 保険については、登録児童が加入している放課後子ども教室総合補償制度でカバーしている。

委員長 新座警察署から不審者情報がとても多いと伺っている。特に新座駅を中心とした半径1km位の所で多発しているとのことである。先日、教育長と各学校長の連名で全児童・生徒に注意喚起の文書を配布したところである。警察にもパトロールの強化をお願いしており、先生方も注意していると思うが、子どもたちの下校の際には注意して帰るように伝えてもらいたい。

(5) 新規開設校進捗状況について（説明：藤田主任）

資料16ページのとおり説明した。

委員長 今月末に2校新規開設になり、今年度ココフレンドは11校になり、残り6校ということになる。平成32年度までに全ての小学校に設置するという目標なので、御協力いただきたい。

事務局 ココフレンドが11校になり、コーディネーターやスタッフの人材の確保が難しくなっている。今後は民間の導入も含めて検討しながら目標を達成していきたい。

(6) 今後の予定について（説明：藤田主任）

資料17ページの通り説明した。

- ・ これまでココフレンドは市の直営で運営してきたが、今後は民間の委託化も検討しているところである。第2回目以降の運営委員会で進捗状況や方針について御協議いただく予定である。

(7) その他

委員 学校の教職員とココフレンドのコーディネーターやスタッフとの定期的な情報交換会が必要であると思う。授業での緊張をココフレンドで

解放する子どもたちが多く、ココフレンドで違った面を見せる。お互いに知らない一面を情報交換できたら良い。

委員 子どもたちは場面ごとに違った顔を見せる。良くない報告やうれしい報告もあると思うが、情報交換は密に行いたいと思う。東野ココフレンドは学校とよくコンタクトをとってくれている。子ども同士のトラブルもあるが、子どもたちの成長を見ているので子どもや保護者への対応がとても的確である。そういったことも含めて報告してくれるので大変ありがたい。

委員長 情報共有は大切であるので、そういうシステムがつかれるように校長会でも話しをしたい。

5 閉会（平岡校長）